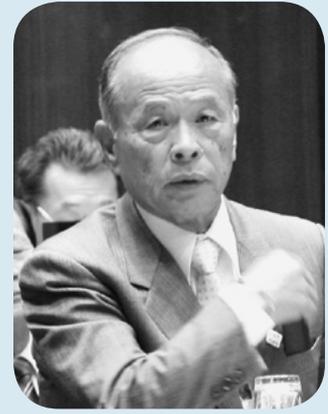


宇都宮宗康 議員



(二問一答方式)

- ①伊方原発再稼働運転
- ②新たな肱川洪水対策
- ③非正規職員の処遇改善
- ④ＡＴ車ワンペダル補助

伊方原発再稼働運転について

問 地震による原発事故は、当然のごとく複合災害が想定され、大洲市住民避難計画によると、南久米地域の住民は河辺地域に避難となるが、6月の梅雨前線豪雨による落石のため河辺へ向かう県道が約5カ月間通行止めになり今後不安である。避難地域を変更すべきではないか。

再稼働した「伊方発電所」



答 現在の計画では、南久米地区の皆さんは河辺地域へ避難することとされています。大きな災害時における道路事情は、最も心配している点の一つで、広域避難時の課題であると受けとめています。

このため、現在、愛媛県と松山市との調整により、愛媛県県民文化会館など17の施設を提示していただいています。UPZ圏内全ての方が松山市に避難できるよう、松山市内の受け入れ施設を増やしていただくように、今後、愛

媛県と松山市に調整をお願いしたいと考えているところです。本市の住民避難計画については、愛媛県の広域避難計画との整合性を図りながら、また近隣市町と連携しながら、不断の見直しを実施していきたいと考えています。

非正規職員の処遇改善について

問 本市では、平成23年から保育所、幼稚園などで、保育士、幼稚園教諭に対し嘱託職員制度が導入されているが、今や保育所、幼稚園での貴重な戦力になって

いるものと思われる。人件費削減や、施設の統廃合などによる人員調整などのために、非正規職員が採用になっていくのも事実であるが、今年度の国家公務員の人事院勧告の実施や、最低賃金が全国平均で24円増と、待遇が改善をされているところである。そこで、本市において幼稚園でのクラス担任加算はあるのか。

答 幼稚園教諭のクラス担任加算については、人材確保の面や、長時間子供と接する保育士と一概に比較することは難しい面があります。勤務形態や業務内容

を考慮し、前向きに条件整備を図っていきたいと考えています。

ＡＴ車ワンペダル補助について

問 高齢者の生活の足を確保するための施策としては、公共交通網の整備を図ることも考えられるが、取り急ぎ高齢ドライバーによる交通事故防止のための手段として、ペダルの踏み違い事故をなくすためにＡＴワンペダルの普及を図るべきだと考えるが、その整備、取りつけに補助はできないのか。

答 ＡＴワンペダルについては、このペダルの操作により、ブレーキとアクセルの踏み間違いがなくなりやすいため、事故防止には一定の効果が期待できるものと考えています。そうした一方で、ＡＴワンペダルと同等品ではございませんが、アクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進を防止する装置の開発も進んでいるとの報道もあります。

こうした点も含め、さまざまな視点から高齢者の事故防止につながる効果的な対策について検討していきたいと考えています。